

# 令和8年度 八代市立松高小学校 グランドデザイン

校訓

仲よく  
たくましく  
考える

学校教育目標 **自律し、共につくる**

みがこう「あたりまえ」、広げよう「思いやり」、目指そう「高め合い」

学校経営理念

**TEAM Building**

## 目指す児童の姿 自ら考え行動し、他者と手を取り合って高め合う児童

ステップ①

**踏み出す力** (自律・やり抜く)

目指す姿 失敗を恐れず、目標に向かって粘り強く取り組む子



ステップ②

**関わる力** (思考・表現・対話)

目指す姿 根拠をもって考えを伝え、友達の意見をつないで、考えを深めることをめざす子

ステップ③

**自分を見つめる力** (メタ認知・自己肯定感)

目指す姿

「自分も友達も成長した」と実感し、新たな目標を自ら見つける子



## 基盤としての「土壌」づくり

### 【基盤】「あたりまえ」と「思いやり」



#### ○「あたりまえ」(規範意識)

- ・「やらされる」から「自分で考え行動する(自律)」へ
- ・挨拶・整理整頓など「あたりまえ」を磨くことで集中力を高めます。

#### ○「思いやり」(心理的安全性)

- ・「失敗しても大丈夫」と思える安心感が、子供同士のつながりを生みます。
- ・教師と児童、児童同士の信頼関係を高めることで、日々の学びを深めていきます。

#### 指導の一貫性

- ・「松高っ子のきまり」「松高っ子五ヶ条」等を全校で共通理解し1年間取り組む。

#### チームで動くための重点事項

##### 思考と主体性

- ・児童が「自分で決める」「根拠を添えて話す」「対話で学び合う」場面を、あらゆる所に散りばめる。

#### チームでの支え

- ①全職員で、一人一人の児童の「小さな成長」を褒める。
- ②児童の実態に応じた相談体制

①チーム(学校・学年部・部会)での対応

※学年部・校務分掌委員会・全職員(職員会議)

②校内研修(探究型研修)を通じた実践的指導力のブラッシュアップ ～対話と振り返りを基に～

#### フィードバック(振り返り) 松高小i-check から

目標(肯定率)

|       |   |       |
|-------|---|-------|
| あたりまえ | 「先生や大人から言われなくても、五ヶ条等を意識し、今何をするべきか自分で判断して行動していますか」 | 80%以上 |
| 思いやり  | 「友達の気持ちを考えて、自分がされてうれしい言葉かけや行動ができていますか。」           | 85%以上 |
| 高め合い  | ステップ① 「ものごとを最後まであきらめずやりぬくことができましたか」               | 80%以上 |
|       | ステップ② 「友達の意見を聞いて、自分の考えを深めることができましたか」              | 80%以上 |
|       | ステップ③ 「友達のよいところや頑張ったところを伝え合っていますか」                | 85%以上 |
|       | 「努力したこと、『できた』『わかった』を、次のやる気や目標につなげていますか」           | 80%以上 |

| 評価    | 見取る観察内容(例) 別紙に詳細                | 評価(解釈)                                      |
|-------|---------------------------------|---|
| あたりまえ | 松高っ子五ヶ条をもとに考えて自分で気付き行動していた      | 他者から指示されなくても、学校生活の約束を自分事として捉えている姿と解釈できる。    |
| 思いやり  | 友達の失敗時に、声をかけていた                 | 相手の気持ちを推し測り、それに基づいて行動していると考えられる。            |
| ステップ① | 課題が難しくても途中で方法を変えるなどしてやり続けた      | 困難に直面しても行動を止めなかったことは、粘り強さが意欲だけでなく行動として表れている |
| ステップ② | 話し合いの中で、他者の意見をつなぐ発言をした          | 他者の視点を取り入れて思考を再構成していると解釈できる。                |
| ステップ③ | 振り返りで「前よりできるようになったこと」を具体的に書いていた | 自分の学びを振り返り、変化を言語化していることで、客観的に見る力が育っている      |